

平成 27 年度
町民アンケート調査結果

菰 野 町

目 次

調査の概要	2
1. 調査の目的	
2. 調査の設計	
3. 回収結果	
4. 注意事項	
調査結果	3
1. 菰野町の住みやすさについて	3
2. 定住意向について	5
3. 分野別の質問について	8
4. 人口問題について	20
5. 男女共同参画について	23
6. あなたご自身のことについて	26

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、町行政の各分野での町民のニーズを把握し、町政運営に反映していくために行いました。

2. 調査の設計

①調査対象地域	町内全域
②調査対象者	平成 27 年 5 月末現在、20 歳以上の町民
③調査方法	調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収
④調査期間	平成 27 年 6 月 8 日～平成 27 年 6 月 30 日

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
配布・回収数	1,000	607	60.7%

4. 注意事項

集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第 2 位で四捨五入しているため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合があります。

複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

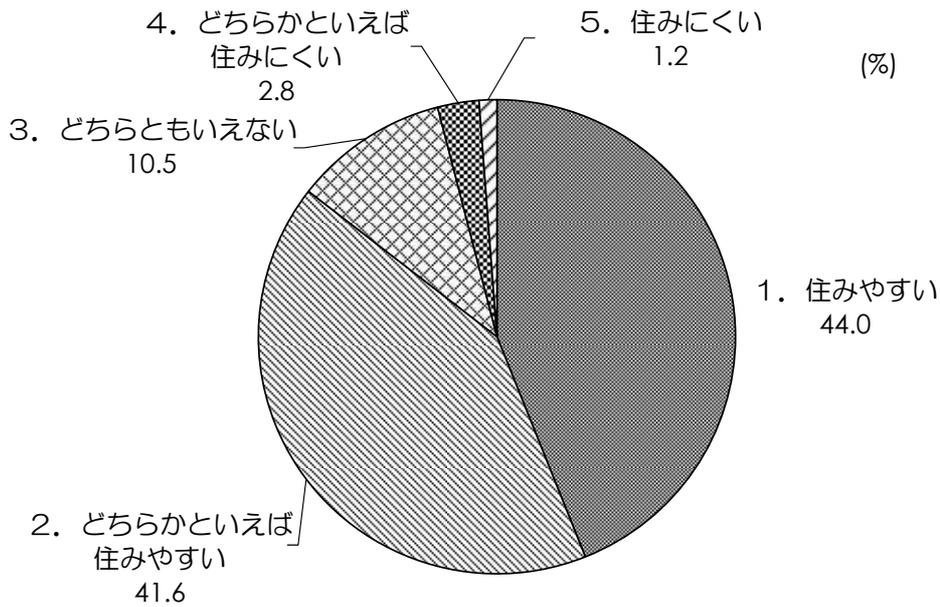
グラフおよび表の《有効回答者数》は、「無回答」や「不明」を除く有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

調査結果

1. 菰野町の住みやすさについて

問1 あなたにとって、菰野町は住みやすいですか。《有効回答者数=580》〔択一回答〕

菰野町に対する印象は、「住みやすい」が 44.0%、「どちらかといえば住みやすい」が 41.6%と、合わせて8割強（85.6%）の人が『住みやすさ』を感じています。一方、「どちらかといえば住みにくい」（2.8%）と「住みにくい」（1.2%）を合わせた『住みにくさ』を感じている人はわずかに 4.0%となっています。



年齢別にみると、『住みやすさ』を感じている人は「30 歳代」では 88.0%に上り、最も多くなっています。一方、『住みにくさ』を感じている人は「60 歳代」で 5.3%あり、他の年代に比べ多くなっています。

地区別にみると、『住みやすさ』を感じている人は「菰野地区」では 88.0%に上り、最も多くなっています。一方、『住みにくさ』を感じている人は「竹永地区」で 8.2%、「千種地区」で 6.5%あり、他の地区に比べ多くなっています。

【年齢別】

上段:回答数 下段:%	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1. 住みやすい	17 34.7	37 44.6	38 40.4	36 34.3	66 49.6	57 52.3
2. どちらかといえば住みやすい	22 44.9	36 43.4	42 44.7	54 51.4	48 36.1	37 33.9
3. どちらともいえない	8 16.3	9 10.8	10 10.6	11 10.5	12 9.0	11 10.1
4. どちらかといえば住みにくい	1 2.0	1 1.2	3 3.2	4 3.8	4 3.0	3 2.8
5. 住みにくい	1 2.0	- -	1 1.1	- -	3 2.3	1 0.9
合 計	49 100.0	83 100.0	94 100.0	105 100.0	133 100.0	109 100.0

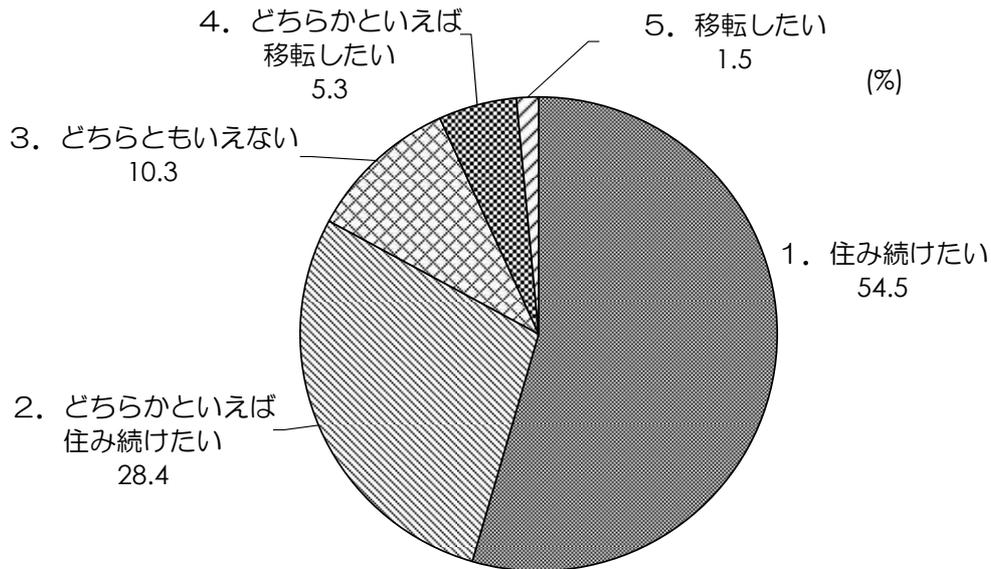
【居住地別】

上段:回答数 下段:%	菰野地区	鶴川原地区	竹永地区	朝上地区	千種地区
1. 住みやすい	113 46.9	28 45.2	32 37.6	41 38.3	37 48.1
2. どちらかといえば住みやすい	99 41.1	26 41.9	39 45.9	45 42.1	29 37.7
3. どちらともいえない	24 10.0	7 11.3	7 8.2	17 15.9	6 7.8
4. どちらかといえば住みにくい	4 1.7	1 1.6	4 4.7	4 3.7	3 3.9
5. 住みにくい	1 0.4	- -	3 3.5	- -	2 2.6
合 計	241 100.0	62 100.0	85 100.0	107 100.0	77 100.0

2. 定住意向について

問2 あなたは今後も菟野町に住みたいと思いますか。《有効回答者数=582》〔択一回答〕

将来の定住意向は、「住み続けたい」が 54.5%、「どちらかといえば住み続けたい」が 28.4%と、合わせて約8割（82.9%）の人が『住み続けたい』と考えています。一方、「移転したい」が 1.5%、「どちらかといえば移転したい」が 5.3%と、合わせて 6.8%の人が『移転したい』と考えています。



年齢別にみると、『住み続けたい』と考えている人の割合は年齢が上がるほど多く、「70 歳以上」では 93.7%に上ります。一方、『移転したい』と考えている人は「20 歳代」で 14.3%あり、他の年代に比べ多くなっています。

地区別にみると、『住み続けたい』と考えている人は「竹永地区」「朝上地区」では約 80%、「菰野地区」「鶴川原地区」「千種地区」ではいずれも約 85%と多くなっています。一方、『移転したい』と考えている人は「竹永地区」で 9.3%あり、他の地区に比べ多くなっています。これは、実際に他地区に比べて転入率が高いことから裏付けられています。

【年齢別】

上段:回答数 下段:%	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1. 住み続けたい	22 44.9	37 44.6	48 51.1	51 48.6	78 59.1	78 69.6
2. どちらかといえば住み続けたい	15 30.6	29 34.9	23 24.5	34 32.4	36 27.3	27 24.1
3. どちらともいえない	5 10.2	14 16.9	15 16.0	12 11.4	11 8.3	3 2.7
4. どちらかといえば移転したい	5 10.2	2 2.4	8 8.5	6 5.7	6 4.5	3 2.7
5. 移転したい	2 4.1	1 1.2	- -	2 1.9	1 0.8	1 0.9
合 計	49 100.0	83 100.0	94 100.0	105 100.0	132 100.0	112 100.0

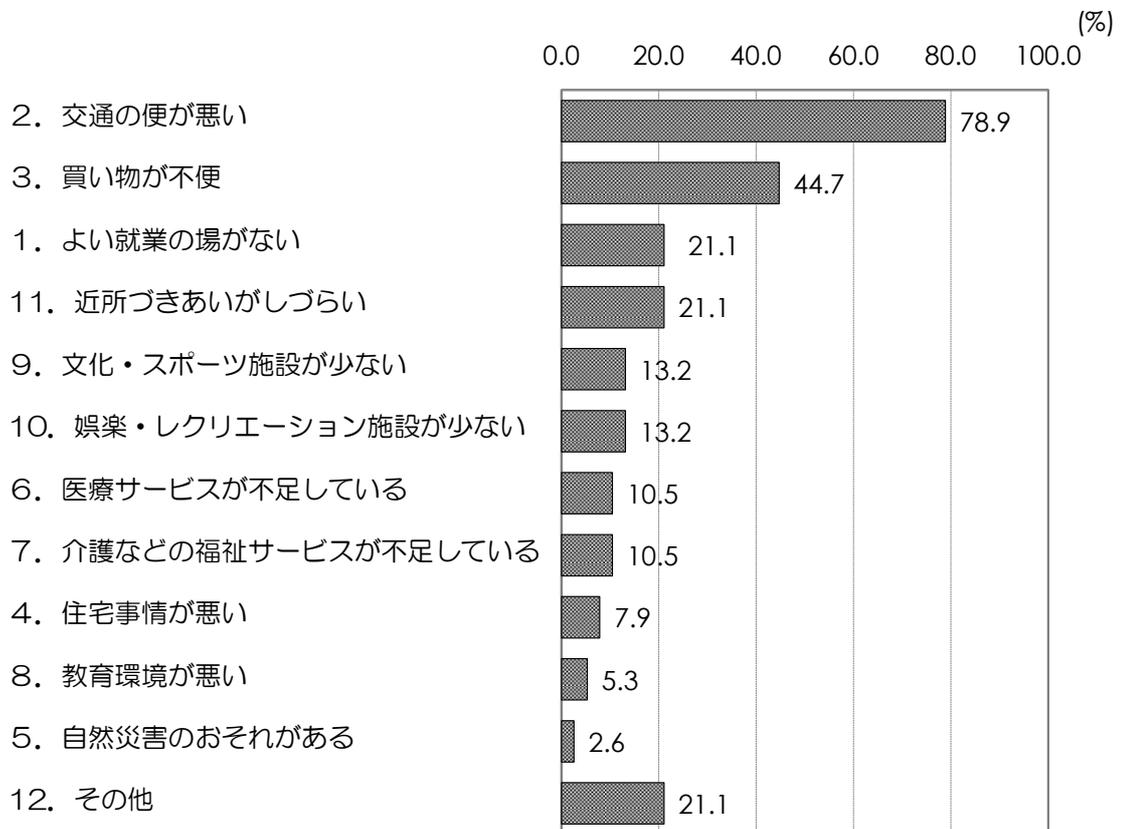
【居住地別】

上段:回答数 下段:%	菰野地区	鶴川原地区	竹永地区	朝上地区	千種地区
1. 住み続けたい	140 57.9	33 53.2	40 46.5	54 50.5	47 61.0
2. どちらかといえば住み続けたい	64 26.4	20 32.3	29 33.7	31 29.0	19 24.7
3. どちらともいえない	26 10.7	7 11.3	9 10.5	13 12.1	5 6.5
4. どちらかといえば移転したい	11 4.5	1 1.6	5 5.8	8 7.5	5 6.5
5. 移転したい	1 0.4	1 1.6	3 3.5	1 0.9	1 1.3
合 計	242 100.0	62 100.0	86 100.0	107 100.0	77 100.0

問2-(1) 問2で「4. どちらかといえば移転したい」または「5. 移転したい」を選んだ方におうかがいします。

移転したいと思う理由は何ですか。《有効回答者数=38》〔複数回答3つまで〕

移転したい理由は、「交通の便が悪い」が78.9%で最も多く、次いで、「買い物が不便」(44.7%)、「よい就業の場がない」「近所づきあいがしづらい」(21.1%)などが続いています。



3. 分野別の質問について

問3 以下に掲げたそれぞれの項目は、菟野町が目指すべき社会の状態を表しています。

重要意識

あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。〔択一回答〕

《生活安全分野》については、『重要』（「非常に重要」と「重要」の合計）とする人の割合が多い項目は、「(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる」や「(2)火災時や救急・救助の対策が整っている」などとなっています。

《子育て、健康・福祉、人権分野》については、「(8)介護・福祉サービスが充実している」や「(7)健康教室や各種検診の内容が充実している」などとなっています。

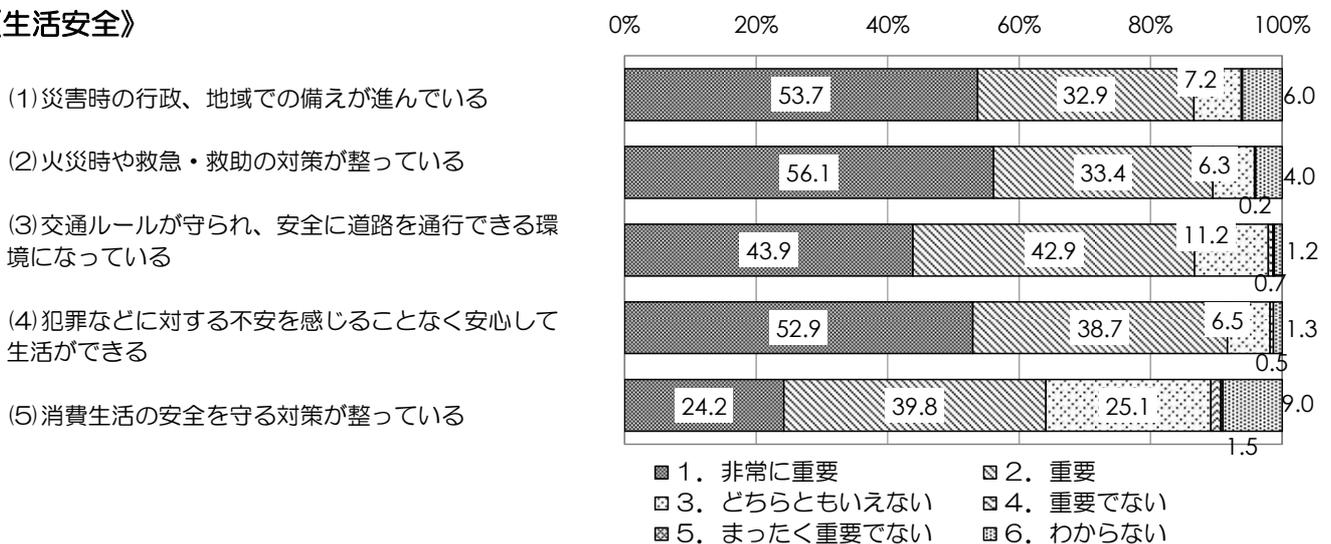
《環境、都市基盤分野》については、「(20)水道水が安全で安定して供給されている」、「(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている」、「(19)下水道が整備され、衛生的である」、「(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある」などとなっています。

《教育、文化・スポーツ分野》については、「(25)学校教育の環境や取り組みが充実している」や「(26)青少年が健全に育成されている」などで多くなっています。

《観光、産業分野》については、いずれの項目も『重要』とする人の割合は6割前後となっており、他の分野に比べて少なくなっています。

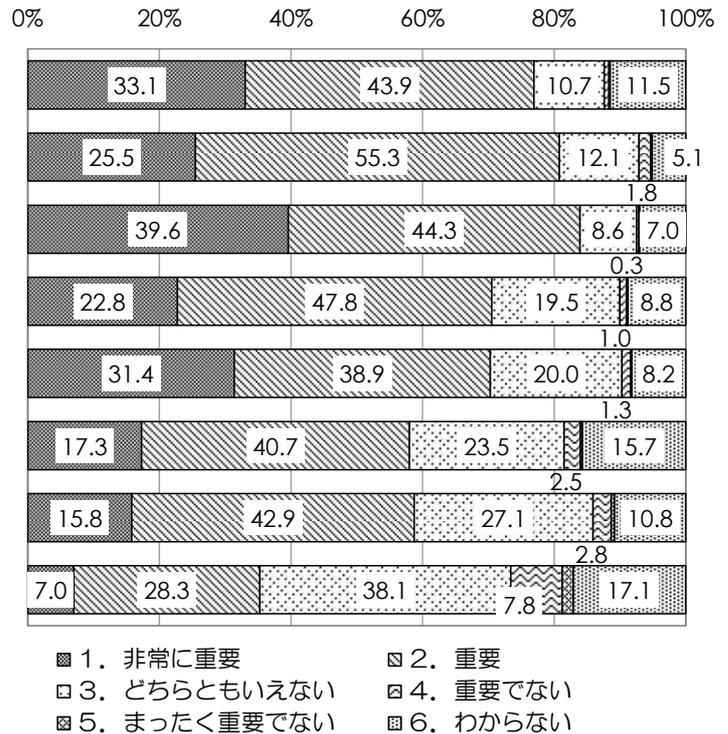
《住民参画、行財政分野》については、「(35)健全な財政運営が行われている」や「(36)効率的な行政運営が行われている」などで多くなっています。

《生活安全》



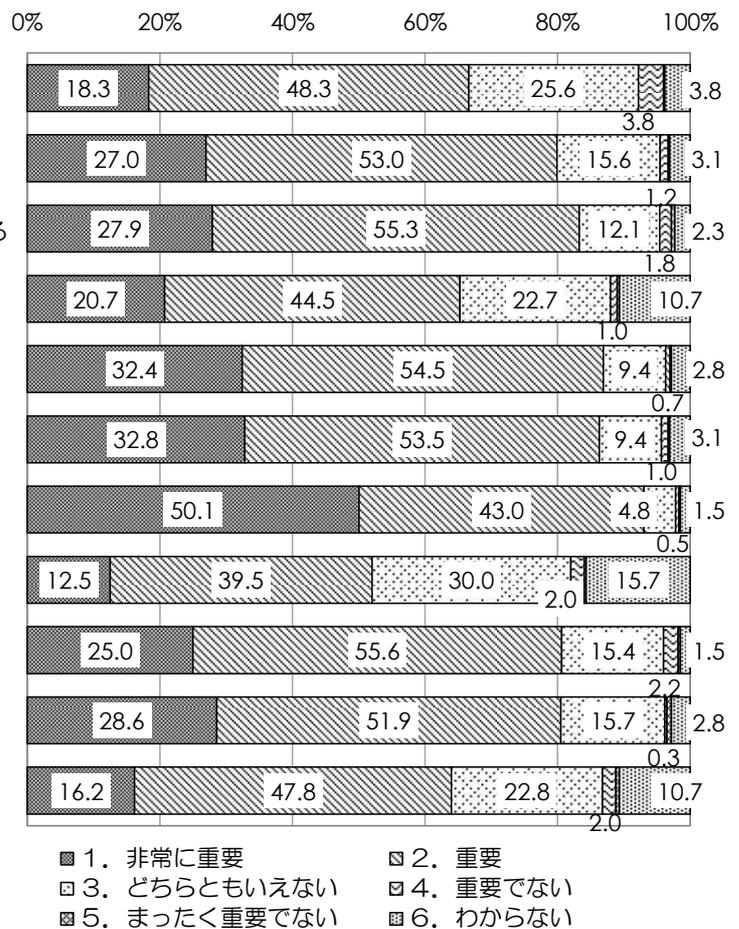
《子育て、健康・福祉、人権》

- (6) 子育ての相談機会や保育サービスが充実している
- (7) 健康教室や各種検診の内容が充実している
- (8) 介護・福祉サービスが充実している
- (9) 高齢者や障がい者の活躍の場がある
- (10) 最低限の生活が保障されていると感じられる
- (11) 人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる
- (12) 男女が平等に社会参加できる環境が整っている
- (13) 国際交流が活発に行われている



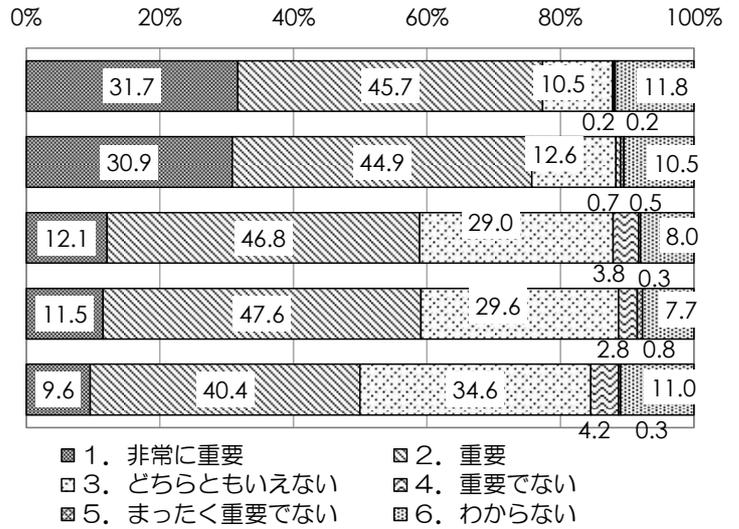
《環境、都市基盤》

- (14) 計画的に町並みや景観が整備されている
- (15) 安心して快適な居住空間が確保されている
- (16) 身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある
- (17) 地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる
- (18) ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている
- (19) 下水道が整備され、衛生的である
- (20) 水道水が安全で安定して供給されている
- (21) 地域の特色にあった土地利用が行われている
- (22) 主要な道路や生活道路が整っている
- (23) 公共交通機関が利用しやすい
- (24) 情報通信基盤が整っている



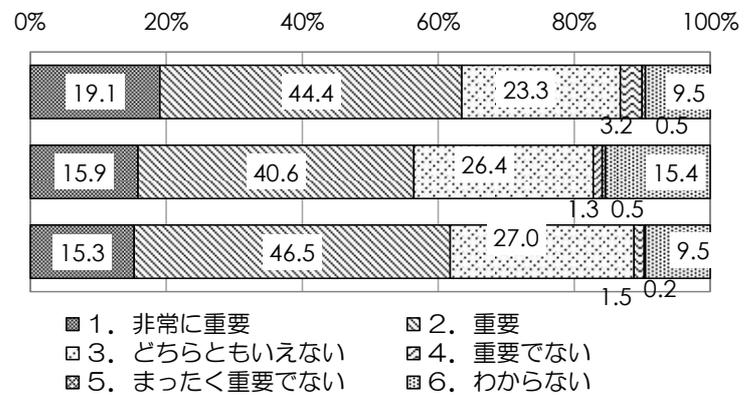
《教育、文化・スポーツ》

- (25) 学校教育の環境や取り組みが充実している
- (26) 青少年が健全に育成されている
- (27) 公民館などの施設や行事内容が充実している
- (28) スポーツ施設や活動内容が充実している
- (29) 芸術や地域文化にかかわる機会が充実している



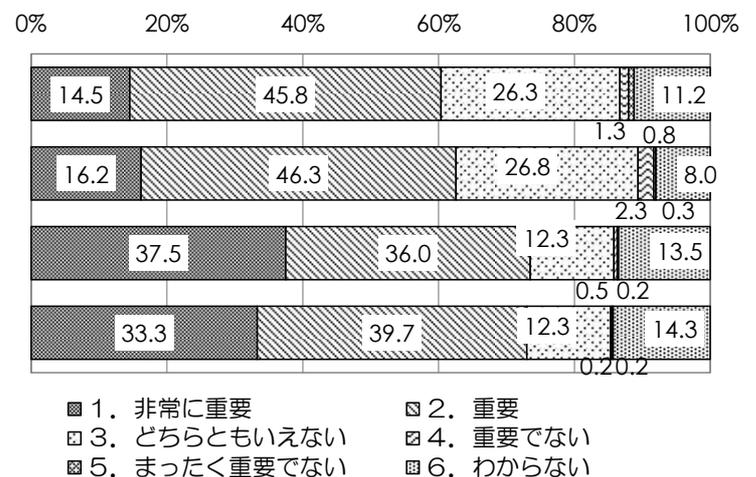
《観光、産業》

- (30) まちの観光資源が有効に活用されている
- (31) 農地や山林の資源が有効に活用されている
- (32) 商店や企業の活動が活発に行われている



《住民参画、行財政》

- (33) 住民の力がまちづくりに活かされている
- (34) まちのことで知りたい情報が手に入りやすい
- (35) 健全な財政運営が行われている
- (36) 効率的な行政運営が行われている



下記の方法により平均点を算出すると、《生活安全分野》が「(5)消費者保護対策」を除いてほぼすべてが上位に位置しており、重要意識の高さが目立っています。《子育て、福祉・健康、人権分野》では項目によってバラつきが大きくなっていますが、「(8)福祉サービス」、「(6)子育て環境」に対する重要意識が高くなっています。《環境、都市基盤分野》では「(20)飲料水の供給」や「(18)ごみの減量」「(19)排水対策」といった生活に密着する項目の重要意識が高くなっています。《教育、文化・スポーツ分野》では「(25)学校教育」、「(26)青少年の健全育成」など、若年層向けの施策が重要視されています。《観光、産業分野》はいずれも中位以下に留まっています。《住民参画、行財政分野》の「(35)財政運営」と「(36)行政運営」も重要意識が高くなっています。

項目間比較

※ 単純比較するため、「非常に重要」を5点、「重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「重要でない」を2点、「まったく重要でない」を1点とし、「わからない」などを除いて平均を出し、点数順に並べたもの。次ページ以降の「年齢別」「地区別」も同様の方法によって点数化した。



【年齢別】

【生活安全】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	4.56	4.69	4.51	4.58	4.44	4.27	4.49
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	4.59	4.68	4.51	4.58	4.47	4.37	4.52
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	4.47	4.47	4.45	4.25	4.25	4.16	4.32
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	4.52	4.64	4.57	4.43	4.32	4.39	4.46
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	4.07	4.20	3.99	3.90	3.90	3.81	3.95

【子育て、健康・福祉、人権】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	4.34	4.43	4.30	4.26	4.06	4.14	4.24
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	4.09	4.13	4.11	4.08	4.11	4.07	4.10
(8)介護・福祉サービスが充実している	4.41	4.40	4.42	4.29	4.30	4.20	4.32
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	4.14	4.08	4.19	3.99	3.94	3.85	4.01
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	4.24	4.23	4.12	4.04	4.07	3.96	4.09
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.95	3.88	3.88	3.82	3.80	3.85	3.85
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.98	3.85	3.86	3.73	3.68	3.80	3.79
(13)国際交流が活発に行われている	3.40	3.33	3.37	3.25	3.41	3.48	3.37

【環境、都市基盤】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	4.04	3.92	3.81	3.74	3.76	3.94	3.84
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	4.34	4.20	4.24	4.02	3.96	3.99	4.09
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.30	4.14	4.17	4.03	4.05	4.11	4.11
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	4.04	4.05	4.08	3.91	3.80	3.92	3.95
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	4.18	4.20	4.29	4.14	4.19	4.30	4.22
(19)下水道が整備され、衛生的である	4.30	4.17	4.22	4.12	4.16	4.37	4.22
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.44	4.39	4.52	4.40	4.42	4.47	4.44
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.89	3.87	3.68	3.69	3.69	3.71	3.73
(22)主要な道路や生活道路が整っている	4.20	4.12	4.02	4.02	3.98	4.04	4.04
(23)公共交通機関が利用しやすい	4.29	4.20	4.25	4.14	3.99	3.94	4.11
(24)情報通信基盤が整っている	3.91	3.92	3.88	3.83	3.84	3.84	3.86

【教育、文化・スポーツ】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	4.20	4.33	4.21	4.26	4.19	4.22	4.23
(26)青少年が健全に育成されている	4.26	4.24	4.21	4.17	4.12	4.14	4.18
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.66	3.74	3.74	3.69	3.64	3.85	3.73
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.80	3.71	3.80	3.64	3.59	3.84	3.72
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.53	3.59	3.67	3.54	3.53	3.81	3.62

【観光、産業】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.91	4.05	3.97	3.79	3.80	3.80	3.87
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	4.00	3.88	3.83	3.73	3.76	3.88	3.83
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	3.93	3.95	3.92	3.72	3.79	3.79	3.84

【住民参画、行財政】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	3.76	3.92	3.83	3.72	3.79	3.87	3.81
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.93	3.89	3.94	3.75	3.71	3.84	3.82
(35)健全な財政運営が行われている	4.28	4.34	4.38	4.27	4.26	4.15	4.28
(36)効率的な行政運営が行われている	4.32	4.24	4.33	4.22	4.16	4.22	4.24

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下

【地区別】

【生活安全】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	4.47	4.42	4.61	4.49	4.44	4.49
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	4.49	4.51	4.51	4.50	4.61	4.52
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	4.36	4.28	4.21	4.35	4.28	4.32
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	4.47	4.55	4.36	4.48	4.44	4.46
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	3.99	4.02	3.88	3.93	3.91	3.95

【子育て、健康・福祉、人権】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	4.20	4.41	4.24	4.23	4.21	4.24
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	4.15	4.15	3.90	4.09	4.12	4.10
(8)介護・福祉サービスが充実している	4.31	4.52	4.16	4.32	4.37	4.32
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	4.06	4.05	3.85	4.00	3.86	3.99
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	4.13	4.18	4.01	4.15	3.93	4.09
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.83	3.98	3.80	3.94	3.76	3.85
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.76	3.88	3.79	3.85	3.75	3.79
(13)国際交流が活発に行われている	3.38	3.46	3.43	3.32	3.26	3.37

【環境、都市基盤】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.84	3.78	3.91	3.83	3.84	3.84
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	4.13	4.08	4.10	4.05	4.00	4.09
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.17	4.11	3.98	4.08	4.12	4.11
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	3.96	3.98	3.84	4.09	3.82	3.95
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	4.22	4.33	4.07	4.27	4.24	4.22
(19)下水道が整備され、衛生的である	4.26	4.41	3.93	4.12	4.33	4.22
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.46	4.43	4.32	4.46	4.48	4.44
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.77	3.58	3.74	3.78	3.68	3.73
(22)主要な道路や生活道路が整っている	4.07	4.03	4.00	4.02	4.06	4.04
(23)公共交通機関が利用しやすい	4.14	3.97	4.19	4.16	3.96	4.11
(24)情報通信基盤が整っている	3.92	3.89	3.73	3.91	3.76	3.86

【教育、文化・スポーツ】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	4.28	4.24	4.14	4.28	4.13	4.23
(26)青少年が健全に育成されている	4.18	4.15	4.14	4.30	4.08	4.18
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.85	3.62	3.67	3.64	3.60	3.73
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.77	3.75	3.65	3.64	3.70	3.72
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.68	3.52	3.57	3.54	3.64	3.62

【観光、産業】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.92	3.93	3.80	3.80	3.86	3.87
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	3.83	3.81	3.69	3.89	3.87	3.83
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	3.89	3.89	3.80	3.79	3.73	3.83

【住民参画、行財政】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	3.82	3.74	3.90	3.78	3.80	3.82
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.81	3.80	3.81	3.84	3.88	3.82
(35)健全な財政運営が行われている	4.26	4.38	4.19	4.30	4.31	4.27
(36)効率的な行政運営が行われている	4.20	4.27	4.15	4.27	4.38	4.23

注： 全体より+0.20点以上、 全体より-0.20点以下

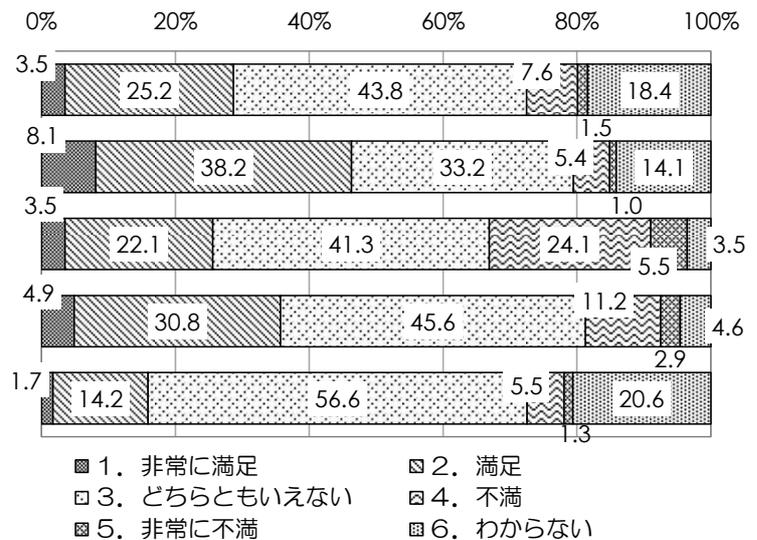
満足意識

あなたは、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取り組みに対して、どのくらい満足されていますか。〔択一回答〕

『満足』（「非常に満足」と「満足」の合計）とする人の割合が5割を超えている項目は、子育て、《健康・福祉、人権分野》の「(7)健康教室や各種検診の内容が充実している」、《環境、都市基盤分野》の「(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある」、「(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている」、「(19)下水道が整備され、衛生的である」、「(20)水道水が安全で安定して供給されている」などとなっています。

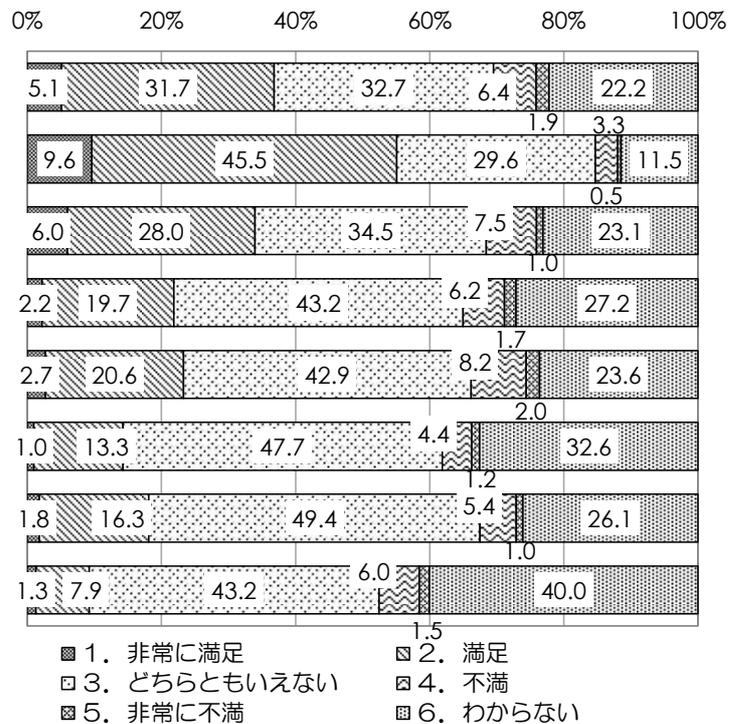
《生活安全》

- (1) 災害時の行政、地域での備えが進んでいる
- (2) 火災時や救急・救助の対策が整っている
- (3) 交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている
- (4) 犯罪などに対する不安を感じることなく安心して生活ができる
- (5) 消費生活の安全を守る対策が整っている

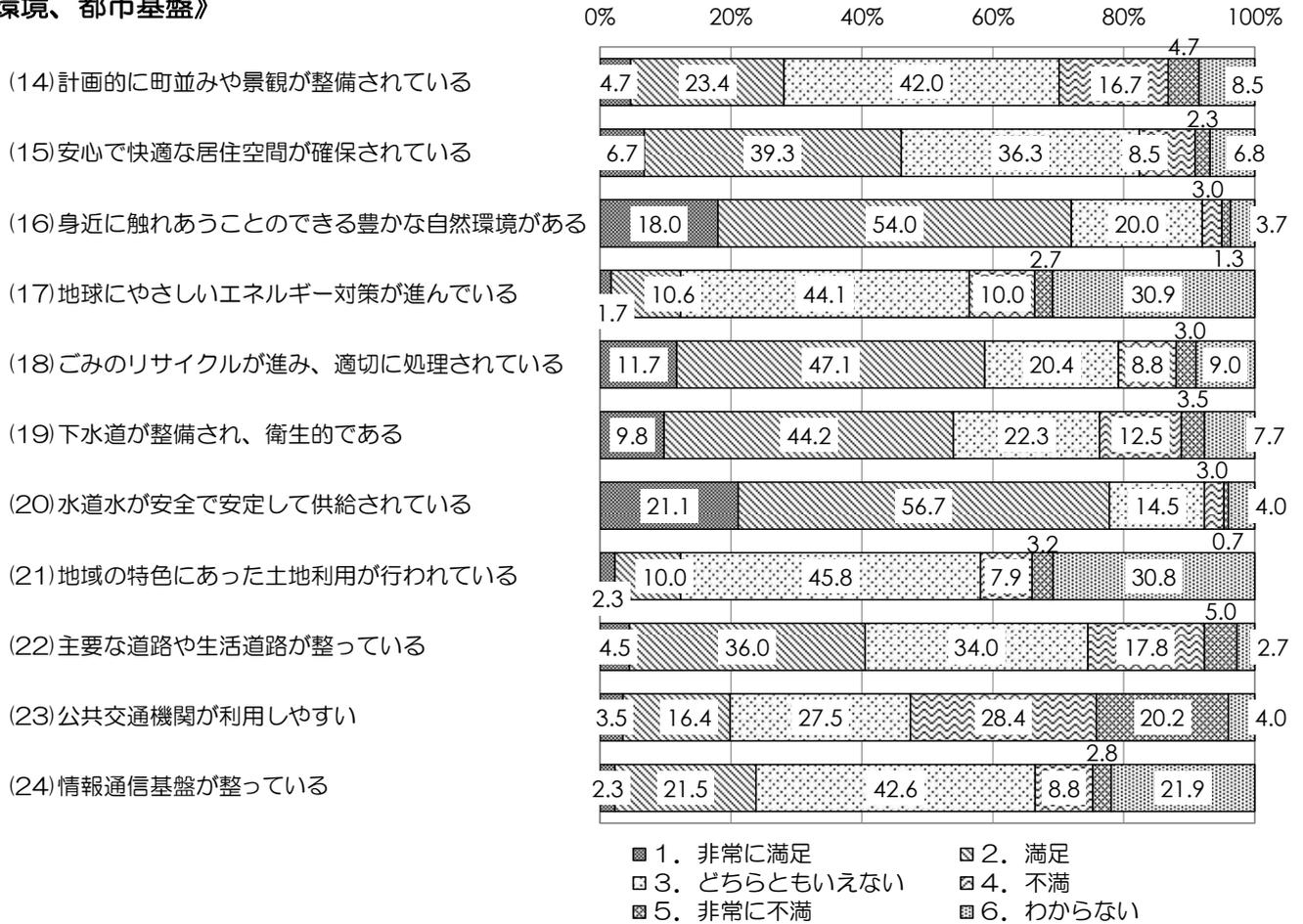


《子育て、健康・福祉、人権》

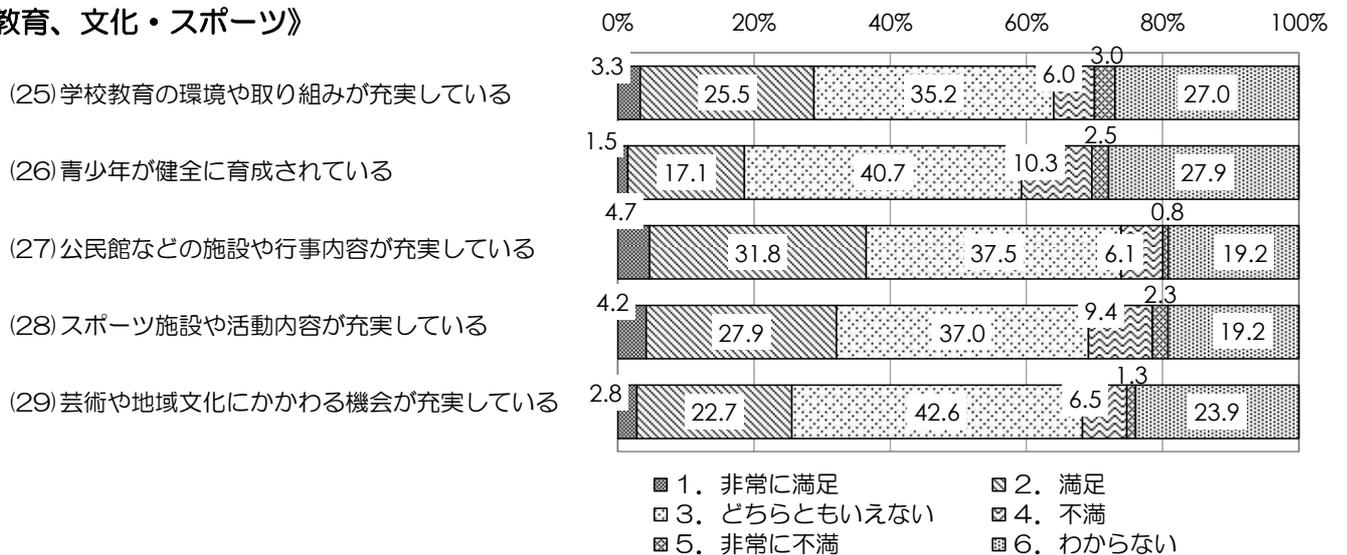
- (6) 子育ての相談機会や保育サービスが充実している
- (7) 健康教室や各種検診の内容が充実している
- (8) 介護・福祉サービスが充実している
- (9) 高齢者や障がい者の活躍の場がある
- (10) 最低限の生活が保障されていると感じられる
- (11) 人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる
- (12) 男女が平等に社会参加できる環境が整っている
- (13) 国際交流が活発に行われている



《環境、都市基盤》

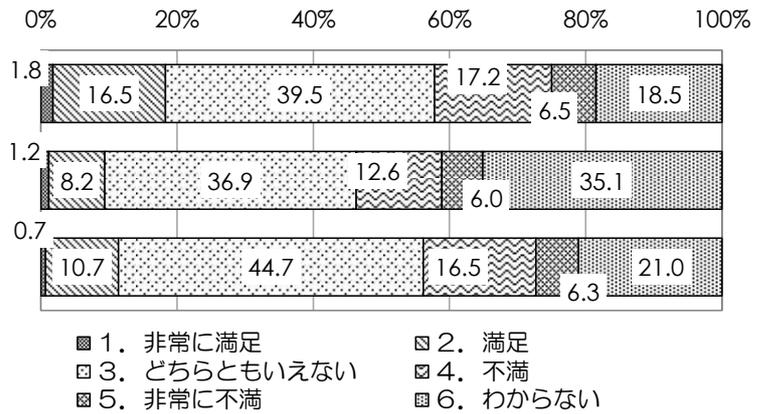


《教育、文化・スポーツ》



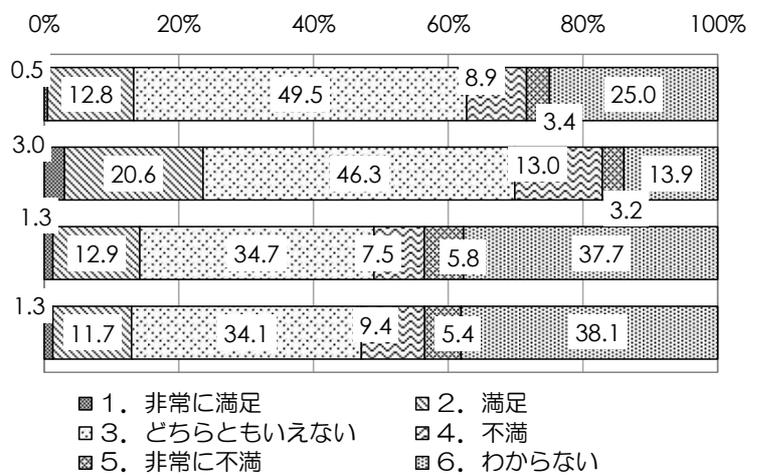
《観光、産業》

- (30) まちの観光資源が有効に活用されている
- (31) 農地や山林の資源が有効に活用されている
- (32) 商店や企業の活動が活発に行われている



《住民参画、行財政》

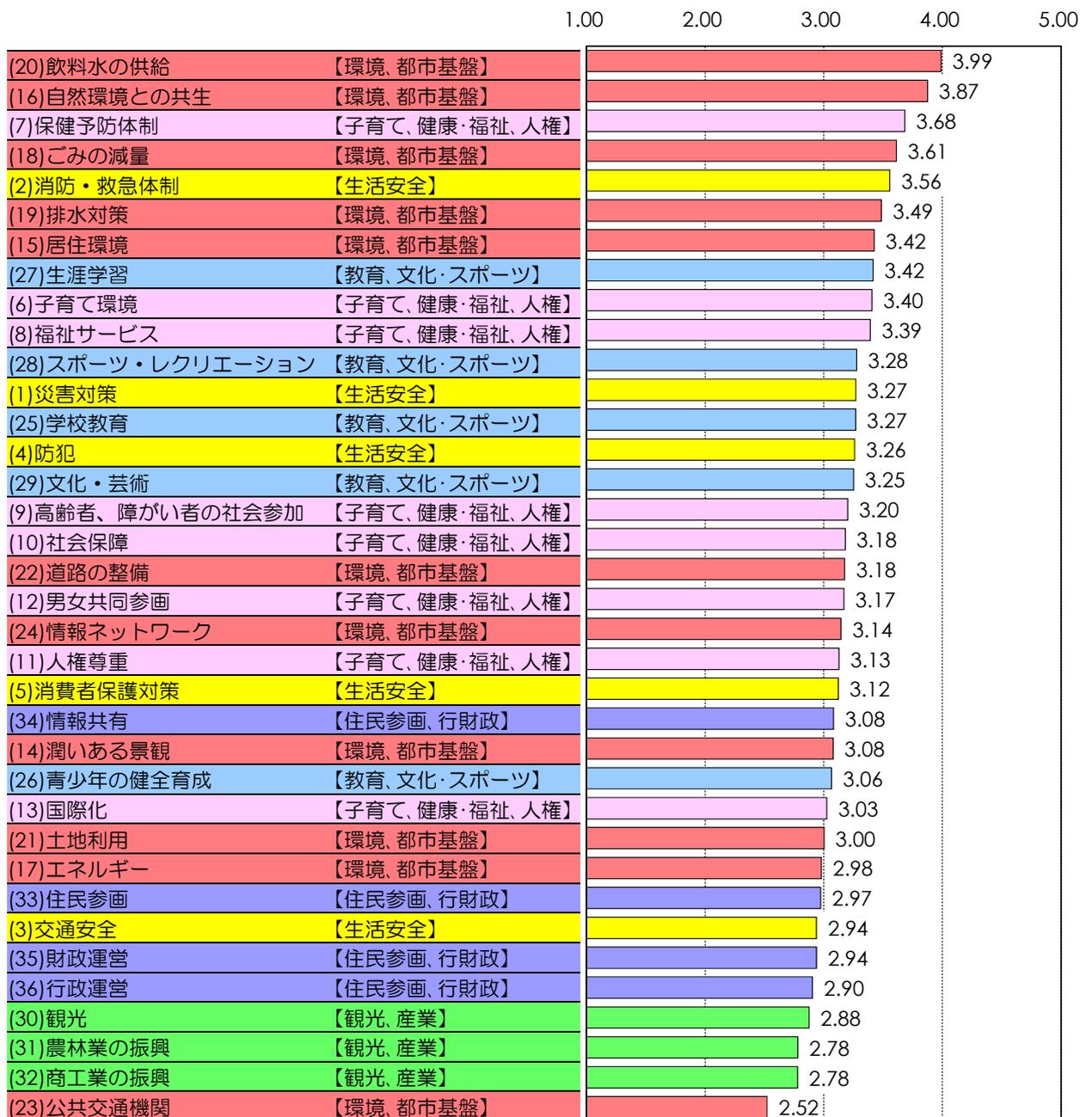
- (33) 住民の力がまちづくりに活かされている
- (34) まちのことで知りたい情報が手に入りやすい
- (35) 健全な財政運営が行われている
- (36) 効率的な行政運営が行われている



下記の方法により平均点を算出すると、《生活安全分野》は項目によって満足度にバラつきがみられました。《子育て、福祉・健康、人権分野》については「(7)保健予防体制」をはじめとして、どの項目も比較的上位に位置しており、《環境、都市基盤分野》の満足意識も「(23)公共交通機関」が最下位であるほかは、「(20)飲料水の供給」「(16)自然環境との共生」が最上位であるなど概ね高くなっています。また、《教育、文化・スポーツ分野》では「(27)生涯学習」が上位にあるなど、満足度は高いといえます。《観光、産業分野》はいずれも下位に位置し、満足度がかなり低い状況です。《住民参画、行財政分野》についても、いずれも下位となっています。

項目間比較

※ 単純比較するため、「非常に満足」を5点、「満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「満足でない」を2点、「まったく満足でない」を1点とし、「わからない」などを除いて平均を出し、点数順に並べたもの。次ページ以降の「年齢別」「地区別」も同様の方法によって点数化した。



【年齢別】

【生活安全】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	3.14	3.17	3.37	3.17	3.32	3.33	3.27
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	3.32	3.37	3.42	3.54	3.62	3.79	3.56
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	2.98	2.86	2.77	2.89	2.91	3.20	2.94
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	3.52	3.25	3.09	3.18	3.28	3.36	3.26
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	3.11	3.17	3.10	3.14	3.02	3.22	3.12

【子育て、健康・福祉、人権】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	3.40	3.38	3.36	3.30	3.48	3.48	3.40
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	3.47	3.71	3.67	3.53	3.78	3.77	3.68
(8)介護・福祉サービスが充実している	3.24	3.41	3.36	3.25	3.41	3.57	3.39
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	3.17	3.30	3.14	3.07	3.16	3.37	3.20
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	3.38	3.18	3.34	3.02	3.14	3.18	3.18
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.12	3.20	3.19	3.06	3.09	3.14	3.13
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.39	3.04	3.13	3.07	3.17	3.30	3.17
(13)国際交流が活発に行われている	2.79	3.05	3.01	3.04	3.00	3.12	3.03

【環境、都市基盤】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.24	2.99	3.22	3.09	2.93	3.12	3.08
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	3.91	3.37	3.39	3.32	3.31	3.53	3.42
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.17	3.99	3.95	3.83	3.75	3.79	3.87
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	3.07	2.98	2.93	3.00	2.86	3.11	2.98
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	3.54	3.39	3.40	3.63	3.62	3.91	3.61
(19)下水道が整備され、衛生的である	3.68	3.46	3.30	3.33	3.44	3.77	3.49
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.11	3.91	4.04	3.84	3.93	4.15	3.99
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.19	3.06	3.08	2.83	2.99	3.01	3.00
(22)主要な道路や生活道路が整っている	3.20	3.24	3.11	3.06	3.14	3.32	3.18
(23)公共交通機関が利用しやすい	2.61	2.44	2.35	2.30	2.67	2.75	2.52
(24)情報通信基盤が整っている	2.89	3.08	3.15	3.06	3.14	3.40	3.14

【教育、文化・スポーツ】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	3.29	3.16	3.16	3.24	3.28	3.46	3.27
(26)青少年が健全に育成されている	3.00	3.03	3.11	3.01	3.09	3.10	3.06
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.50	3.44	3.39	3.22	3.42	3.55	3.42
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.19	3.30	3.27	3.14	3.21	3.51	3.28
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.24	3.36	3.25	3.14	3.18	3.37	3.25

【観光、産業】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.03	3.05	3.02	2.91	2.60	2.86	2.88
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	3.13	3.02	3.06	2.70	2.45	2.74	2.78
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	2.69	2.95	2.88	2.75	2.72	2.72	2.78

【住民参画、行財政】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	2.97	3.02	3.01	2.90	2.87	3.10	2.97
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.05	3.21	3.06	2.99	3.08	3.12	3.08
(35)健全な財政運営が行われている	3.18	3.14	2.84	2.79	2.89	3.03	2.94
(36)効率的な行政運営が行われている	3.07	3.00	2.73	2.86	2.89	3.00	2.90

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下

【地区別】

【生活安全】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	3.63	3.70	3.42	3.48	3.51	3.56
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	2.96	3.17	2.85	2.88	2.88	2.94
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	2.96	3.17	2.85	2.88	2.88	2.94
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	3.26	3.29	3.14	3.28	3.33	3.26
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	3.15	3.04	3.08	3.18	3.09	3.12

【子育て、健康・福祉、人権】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	3.43	3.49	3.32	3.40	3.38	3.41
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	3.75	3.79	3.53	3.65	3.62	3.69
(8)介護・福祉サービスが充実している	3.41	3.48	3.27	3.30	3.51	3.39
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	3.24	3.31	3.08	3.16	3.22	3.21
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	3.18	3.30	3.03	3.21	3.20	3.18
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.18	3.13	2.98	3.11	3.14	3.13
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.20	3.23	3.10	3.08	3.22	3.17
(13)国際交流が活発に行われている	3.09	2.97	3.00	2.93	3.00	3.03

【環境、都市基盤】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.00	3.15	3.14	3.22	2.99	3.08
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	3.43	3.50	3.29	3.46	3.44	3.43
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	3.87	3.95	3.84	3.84	3.90	3.87
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	2.99	2.84	2.95	3.03	3.03	2.98
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	3.65	3.54	3.62	3.54	3.63	3.61
(19)下水道が整備され、衛生的である	3.61	3.96	2.90	3.23	3.69	3.49
(20)水道水が安全で安定して供給されている	3.98	3.98	3.98	3.92	4.11	3.99
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.05	3.07	2.86	3.01	2.96	3.00
(22)主要な道路や生活道路が整っている	3.17	3.31	2.99	3.22	3.22	3.18
(23)公共交通機関が利用しやすい	2.96	2.53	1.97	2.05	2.49	2.52
(24)情報通信基盤が整っている	3.14	3.30	3.01	3.12	3.23	3.15

【教育、文化・スポーツ】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	3.31	3.28	3.21	3.15	3.36	3.27
(26)青少年が健全に育成されている	3.11	3.07	2.94	3.06	3.06	3.07
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.53	3.25	3.34	3.30	3.41	3.42
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.39	3.29	3.10	3.15	3.28	3.28
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.32	3.17	3.12	3.18	3.31	3.25

【観光、産業】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	2.83	2.96	3.03	2.81	2.90	2.88
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	2.81	3.00	2.77	2.59	2.82	2.78
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	2.73	3.06	2.66	2.75	2.88	2.78

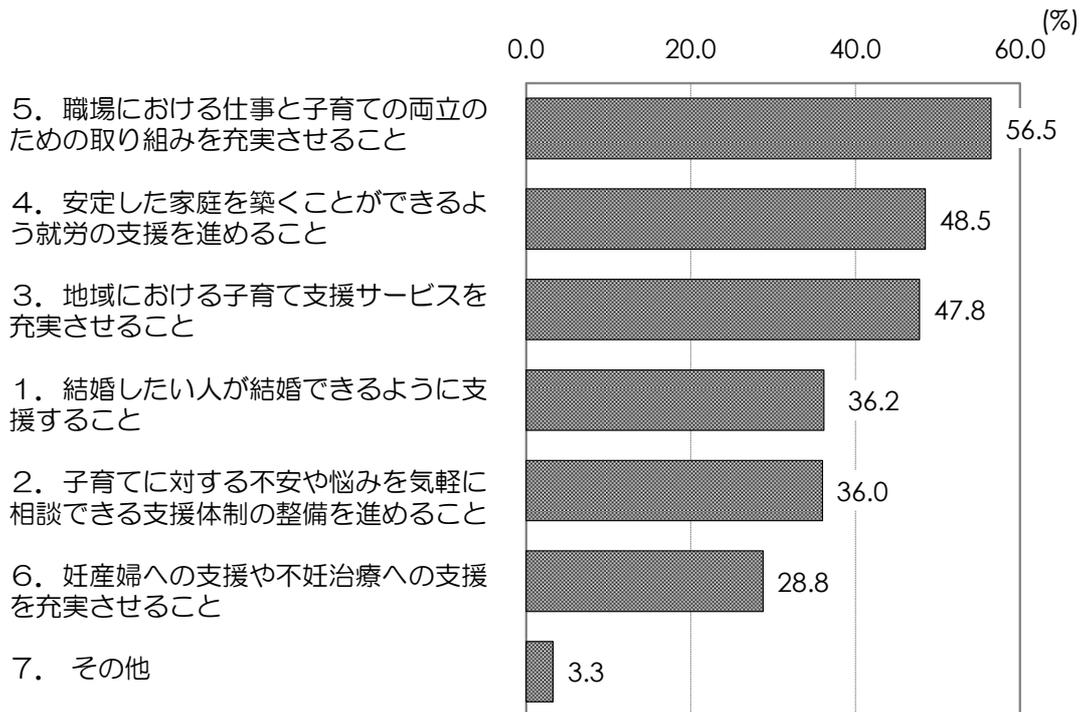
【住民参画、行財政】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種	全体
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	2.97	3.08	2.96	2.83	3.09	2.97
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.15	3.06	2.99	3.02	3.05	3.08
(35)健全な財政運営が行われている	3.03	3.00	2.89	2.68	3.02	2.94
(36)効率的な行政運営が行われている	2.94	2.86	2.83	2.75	3.12	2.91

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下

4. 人口問題について

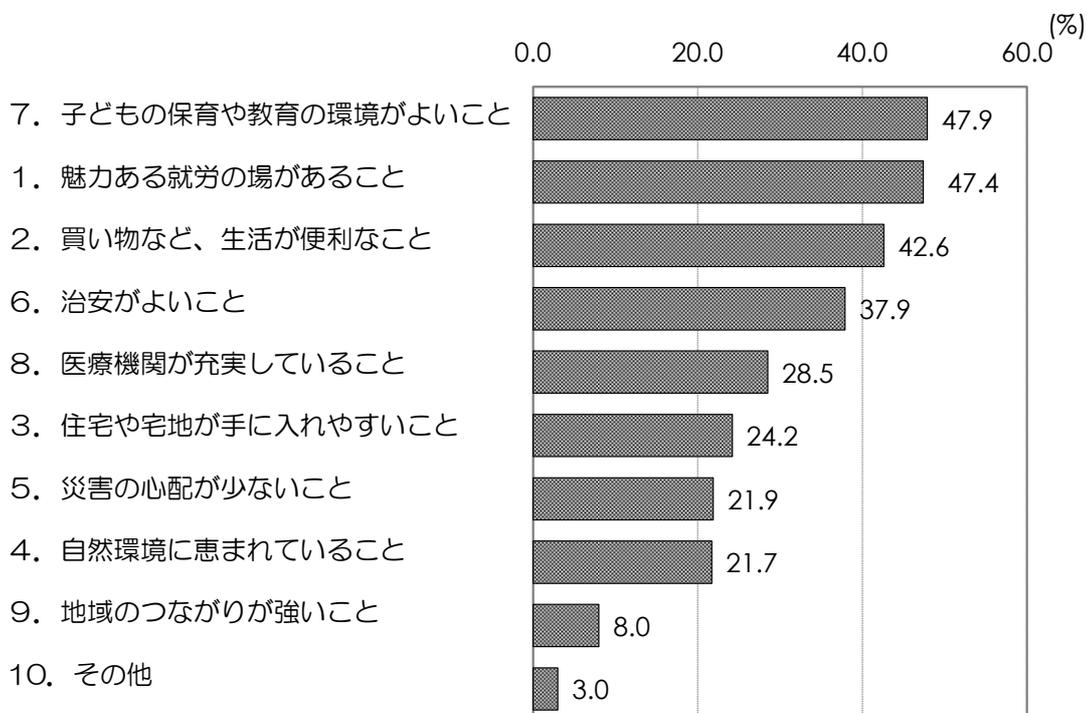
問4 少子化が進み、わが国の人口は、2050年頃には1億人を下回ることが予想されています。今後、出生率を上げていくためには、どんなことが有効だと思いますか。《有効回答者数=600》〔複数回答3つまで〕

出生率を上げていくために有効なことについては、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実させること」が56.5%で最も多くなっています。次いで、「安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めること」（48.5%）、「地域における子育て支援サービスを充実させること」（47.8%）が続いています。



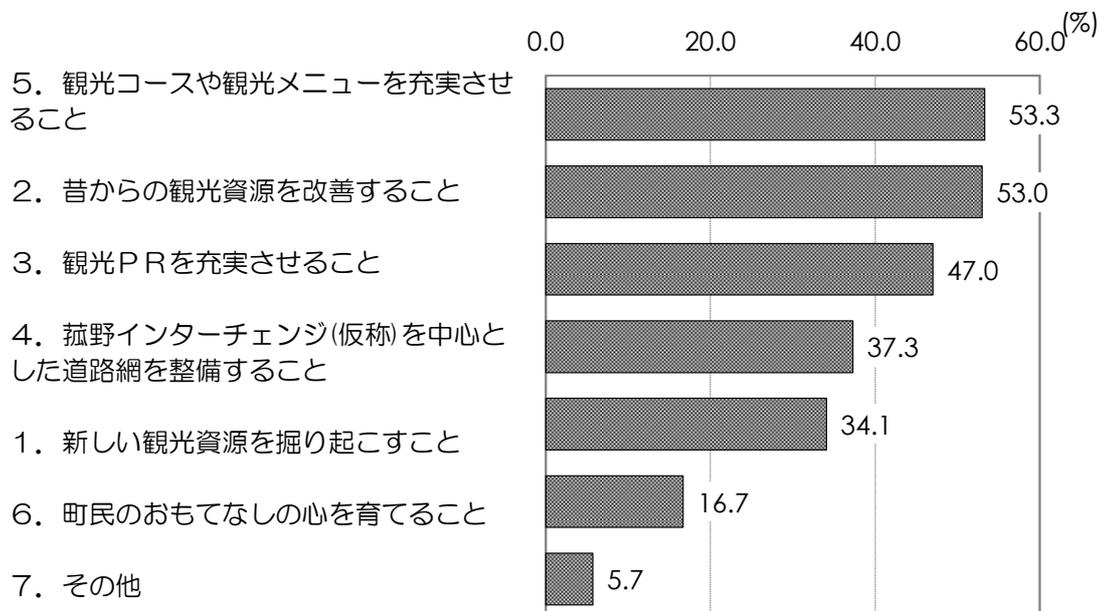
問 5 菰野町は、20 歳代、30 歳代といった若い世代の転入が多いまちです。今後も、菰野町に住みたいと思う若者を増やすためには、どんなことが有効だと思いますか。《有効回答者数=599》〔複数回答 3 つまで〕

菰野町に住みたいと思う若者を増やすために有効なことについては、「子どもの保育や教育の環境がよいこと」が 47.9%で最も多く、次いで、「魅力ある就労の場があること」(47.4%) が僅差で続いています。さらに、「買い物など、生活が便利なこと」(42.6%) や「治安がよいこと」(37.9%) が続いています。



問 6 菰野町は、鈴鹿山脈や湯の山温泉など、観光資源の豊かなまちです。今後も、菰野町を訪れる人を増やすためには、どんなことが有効だと思いますか。《有効回答者数=598》〔複数回答 3 つまで〕

菰野町への訪問者を増やすために有効なことについては、「観光コースや観光メニューを充実させること」が 53.3%で最も多く、次いで、「昔からの観光資源を改善すること」(53.0%) が僅差で続いています。さらに、「観光 PR を充実させること」(47.0%)、「菰野インターチェンジ(仮称)を中心とした道路網を整備すること」(37.3%) が続いています。

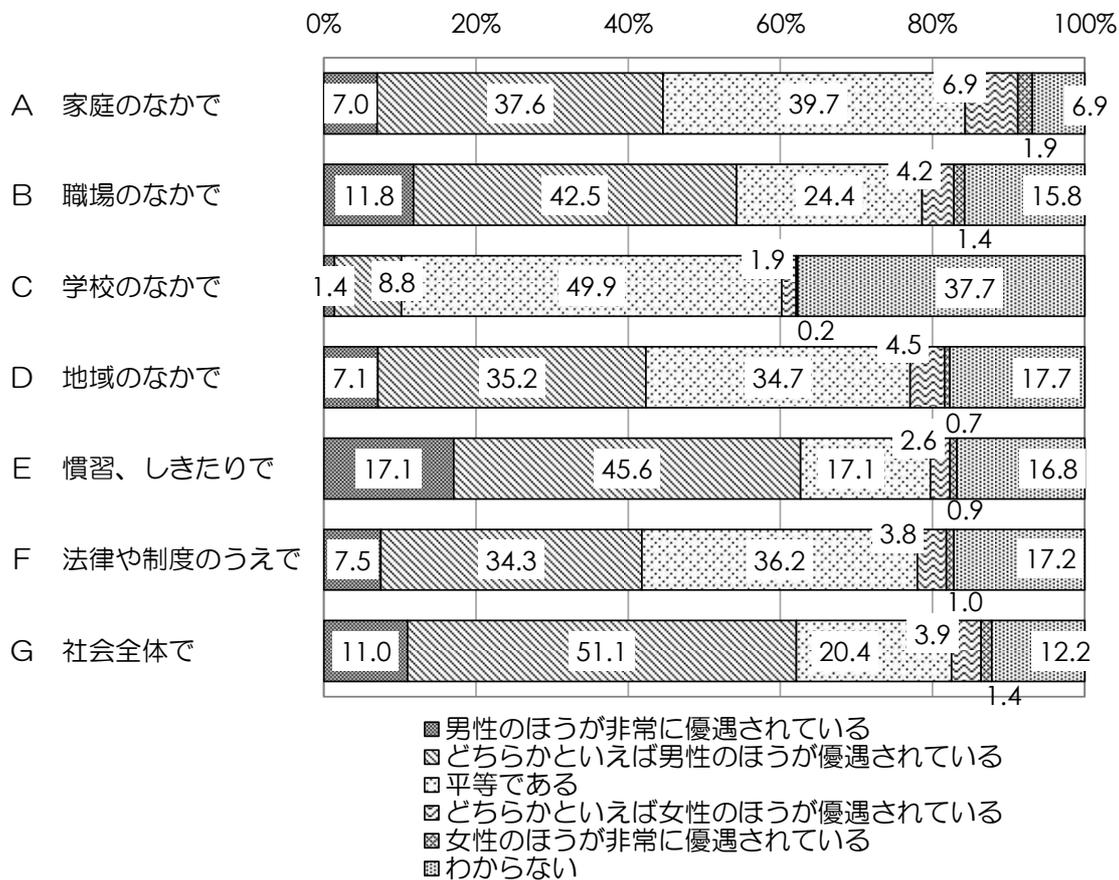


5. 男女共同参画について

問7 あなたは、次にあげるA～Gの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。〔択一回答〕

それぞれの分野での男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した人の割合は、「学校」が49.9%で最も多く、次いで、「家庭」(39.7%)、「法律や制度」(36.2%)、「地域」(34.7%)、「職場」(24.4%)、「社会全体」(20.4%)、「慣習、しきたり」(17.1%)の順となっています。

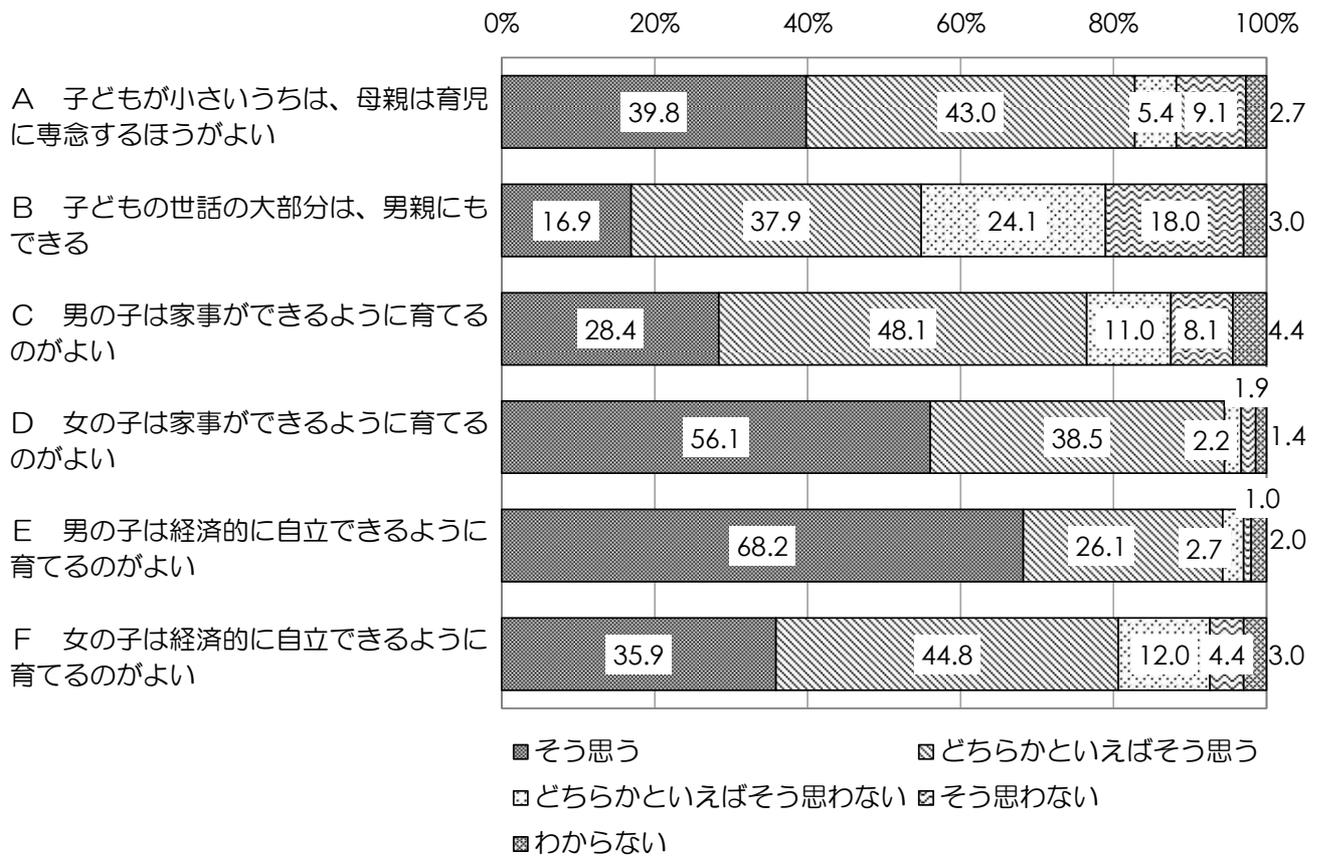
『男性のほうが優遇されている』(「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計)と回答した人の割合は、「慣習、しきたり」(62.7%)と「社会全体」(62.1%)で特に多く、次いで、「職場」(54.3%)、「家庭」(44.6%)、「地域」(42.3%)、「法律や制度」(41.8%)の順となっています。一方、『女性のほうが優遇されている』(「女性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」の合計)と回答した人の割合はいずれも非常に少なくなっています。



問 8 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。〔択一回答〕

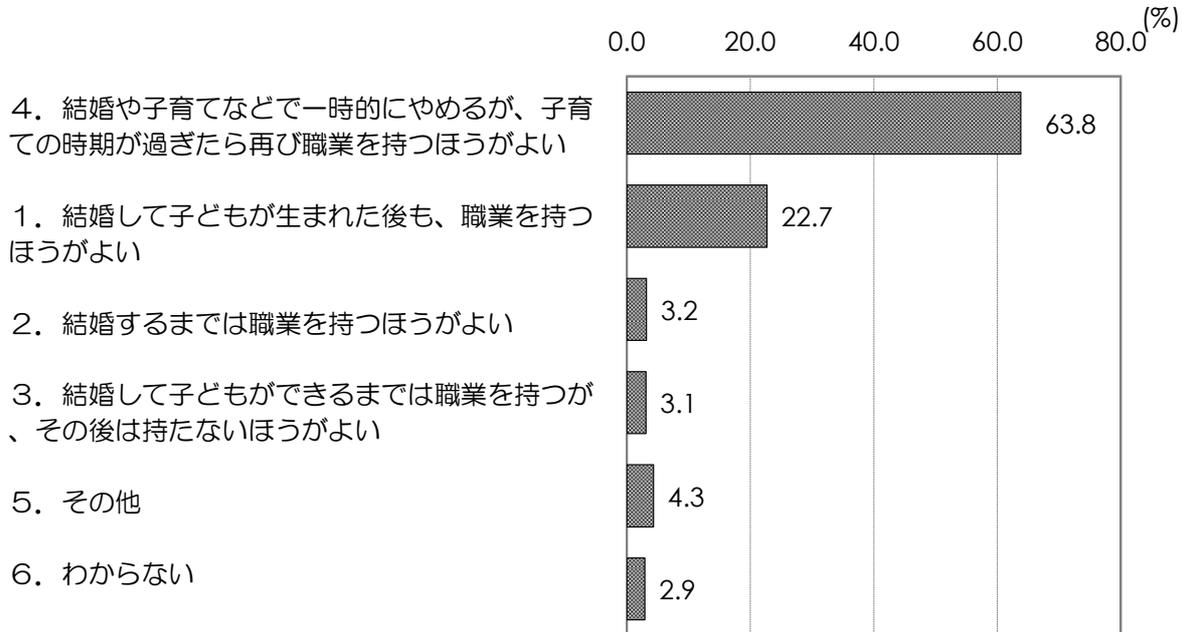
子育てについての考え方は、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）とする人の割合が多い項目は、「女の子は家事ができるように育てるのがよい」（94.6%）と「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」（94.3%）となっており、ともに9割を超えています。また、「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念するほうがよい」（82.8%）と「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」（80.7%）も『そう思う』が8割を超えて多くなっています。

一方、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）とする人の割合が多い項目は、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」で、42.1%となっています。



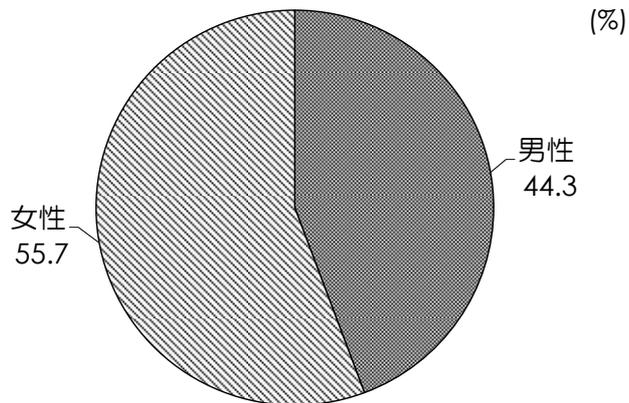
問 9 女性の職業のかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。《有効回答者数=585》〔択一回答〕

女性の職業のかかわり方については、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つほうがよい」が 63.8%で最も多く、次いで、「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持つほうがよい」が 44.7%が続いています。

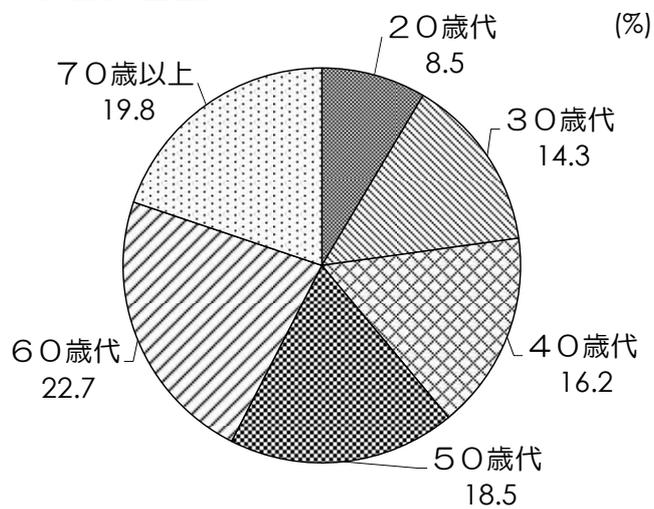


6. あなたご自身のことについて

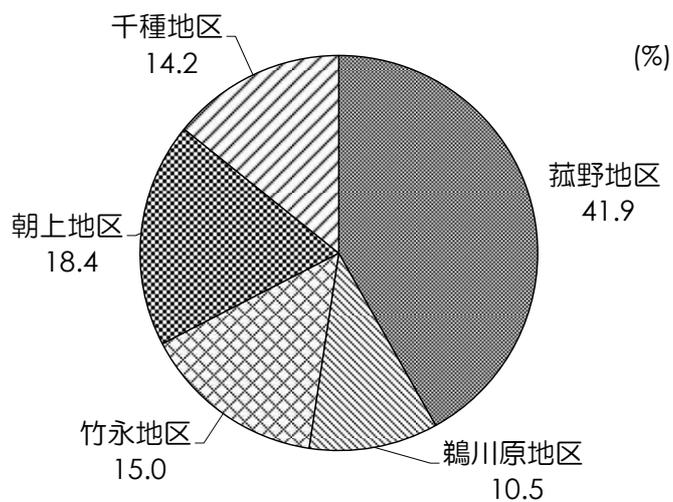
1. 性別《有効回答者数=598》〔択一回答〕



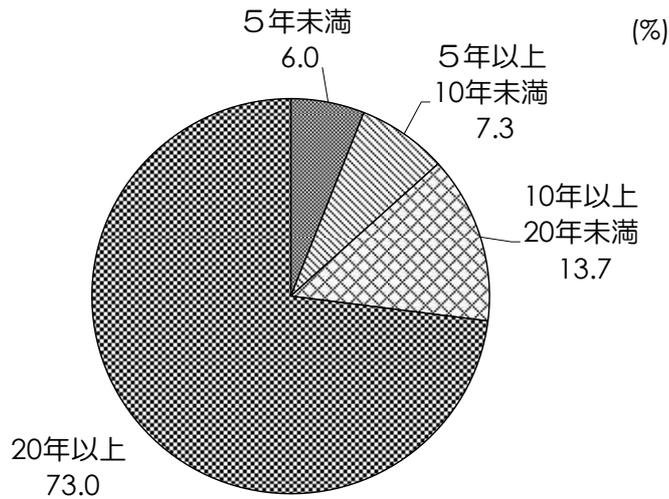
2. 年齢《有効回答者数=600》〔択一回答〕



3. 居住地区《有効回答者数=599》〔択一回答〕



4. 居住年数《有効回答者数=600》〔択一回答〕



4-1) 4で「1. 5年未満」を選んだ方におうかがいします。
移住したきっかけは何ですか。《有効回答者数=36》〔複数回答3つまで〕

